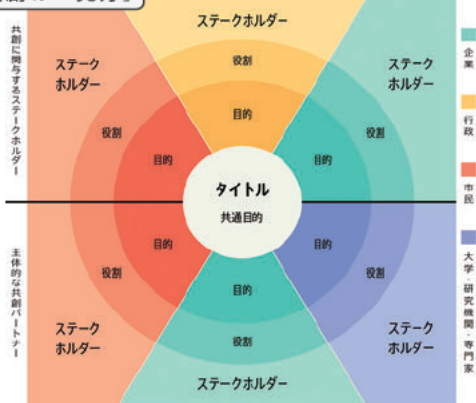


Local X FORUM

Vol.2

共創の「見方」



パーパスモデル

里山



京屋染物店

開催日時

2023 10.26 THU 13:00 - 15:10



みせるばやお

コミュニケーション・デザイン



映画『神在月のこども』

「エリア」を活かした 多角的イノベーションの可能性

Featuring 関西オープンファクトリーフォーラム Vol.17

昨年度、近畿経済産業局では、東北・関東・四国局の各局と連携し、「共通目的」を持つコミュニティがイノベーションを起こす事例として、「地域一体型オープンファクトリー」に着目し、地域企業が群となって「オープンイノベーション 2.0」を体現する要件について調査・分析を行ってきました。そのうち、地域の特性・個性を活かした Social Good を生み出すコミュニティを「Local X Lab.」として位置付けています。

今年度においては、既存の業種や商習慣の枠組みにとらわれず、国内地域における「オープンイノベーション 2.0」を加速化させるため、どのような「要素」が「Local X」になりうるのか、各地の実例（ロールモデル）を発掘します。これらを通じて、VUCA 時代における国内の次代産業クラスター政策としての「Local X Lab.」の多様な可能性を明らかにすることを目的に、各地の様々なコミュニティで活躍するキーパーソンの方々による公開討論会を開催します。

参加無料

会場

みせるばやお

大阪府八尾市光町 2-60 リノアス 8F

※10月26～29日開催の FactorISM にご協力いただき実施

主催

協力

事務局

経済産業省近畿経済産業局

FactorISM

株式会社地域計画建築研究所
(アルバック)



PROGRAM 「エリア」を活かした多角的イノベーションの可能性

各地のコミュニティ・キーパーソンによる
事例紹介 (LocalX)

13:00



『みせるばやおにおける共創のあり方』

株式会社みせるばやお 代表取締役社長 木村 祥一郎氏

1995年大学時代の仲間数名と有限会社ジャパンサーチエンジン(現 イー・エージェンシー)を立ち上げ。以来18年間、商品開発やマーケティングなどを担当。2013年に家業である木村石炭工業株式会社へ入社し、2016年4代目社長に就任。企業同士の共創を促進することで新たなイノベーションを起こすことを目的に株式会社みせるばやおを設立し、2020年に代表取締役社長に就任。サードプレイスへ企業を引き込み、イノベーションを起こす場づくり・共創活動について、みせるばやおでの実例とともにご紹介いただきます。



『里山から始めるオープンイノベーション』

株式会社京屋染物店 専務取締役 蜂谷 淳平氏

岩手県一関市で創業100年以上続く老舗染物店において、伝統と現代の感性を融合させた新たな商品開発・取組に挑戦し続けている。2018年東北初のオープンファクトリー「五感市」の初代実行委員長や「いわて県南エリア伝統工芸協議会」副会長を務める。2022年には自然と共生する郷土文化の魅力を伝える「里山の緑日」プロジェクトを始動。共創の手段としてクラウドファンディングを用い、里山という「場」で染物を含めた岩手の文化や生活、工芸、食、郷土芸能を発信する取組についてご紹介いただきます。



『アニメーションで伝導させるロケーションの地熱と魅力』

映画『神在月のこども』原作・コミュニケーション監督 四戸 俊成氏

2009年 cretica universal を立ち上げ、映画・漫画・音楽等、様々な領域でのコミュニケーション・デザインを手がけ、2019年にアニメーション映画『神在月のこども』を企画・原作。島国の根と書く「島根・出雲」のロケーションとその文化を五輪イヤーに国内外へと届けるために制作し、2021年に全国約200館でのロードショーを飾る。翌2022年にNetflixでの全世界配信で初週161万人の鑑賞を記録し、Global Top8を獲得した。日本の原風景が持つ魅力をアニメーションに描いてアウトバウンドさせ、やがて、そのロケーションにインバウンドさせるコミュニケーションの設計についてご紹介いただきます。

14:05



『パーパスモデル』

株式会社日建設計 企画開発部門 イノベーションデザインセンター 吉備 友理恵氏

株式会社日建設計 イノベーションデザインセンター プロジェクトデザイナー。株式会社日建設計 NAD 室 (Nikken Activity Design Lab) に入社し、一般社団法人 Future Center Alliance Japan への出向を経て現職。都市におけるマルチステークホルダーの共創、場を通じたイノベーションについて研究実践を行う。共創を概念ではなく、誰もが取り組めるものにするために「パーパスモデル」を考案。主な著書に『パーパスモデル：人を巻き込む共創のつくりかた』(学芸出版社)など。近畿経済産業局をはじめ、多くの共創をテーマとするシンポジウム、セミナー等への登壇実績多数。現在は社内外をつなぎ、コラボレーションをデザインするイノベーションデザインセンターで活動し、本社内に2023年4月にオープンした共創の場 PYNT (ピント) の企画・運営も行う。

14:30

テーマ

- ① 上手くワークするコミュニティの要件・要素とは
- ② イノベーションを巻き起こすメカニズム など

座長 (ファシリテーター)

株式会社日建設計 企画開発部門 イノベーションデザインセンター 吉備 友理恵氏

パネルディスカッションより参加



FactorISM 実行委員会 統括プロデューサー / 株式会社友安製作所 ソーシャルデザイン部担当執行役員 松尾 泰貴氏

関西大学卒業後、大阪府八尾市に入所し中小企業の支援や産業政策等に従事。八尾市にて「みせるばやお」を立ち上げ、「地方公務員アワード2019」を受賞。2021年に友安製作所へ入社後は、一社員としての活動を超えて、様々なまちづくり活動に参画。大阪府広域に広がるオープンファクトリー「FactorISM」や和歌山県専門家、大阪生野区、八尾市の公共事業のプロデュースを行うなど、様々なコミュニティを越境し、イノベーションを生み出すコミュニティを作り出す実践者の立場から議論にご参加いただきます。

会場

みせるばやお
大阪府八尾市光町 2-60 リノアス 8F



近鉄大阪線
「近鉄八尾駅」
徒歩約4分
近鉄バス/八尾線
「近鉄八尾駅」
徒歩約4分

応募方法

以下の情報を記載して、メールにてお申込みください。

記載事項

件名: 10/26 フォーラム申込

氏名、所属・役職、TEL、メールアドレス

Mail

local.x.forum-2@arpak.co.jp

※右記 QR コードを読み込めばメールフォームが開きます▶

※先着順 ※定員 70 名程度

メールフォーム



お問い合わせ先 (事業受託機関: 事務局)

株式会社地域計画建築研究所 (略称: アルバック)

大阪事務所 (担当: 山部・倉見・山口)

大阪市中央区今橋 3-1-7

TEL 06-6205-3600

MAIL local.x.forum-2@arpak.co.jp

実施主体 経済産業省

近畿経済産業局 地域経済部 地域連携推進課 (担当: 津田・古木)

大阪市中央区大手前 1-5-44

TEL 06-6966-6013